

# 2008' リンケージ藤波オータムフェア

## 特別講演会

### 「新たな時代の歯科技工」

講師

デンテックインターナショナル株式会社  
取締役社長 十河 厚志先生

講師略歴

1964 大阪生まれ  
1985 大阪歯科学院専門学校卒業  
1989 渡米 Yamashita DenTech 入社  
1989 UCLA Medical Center、USC 歯学部 Associate Faculty にて Implant 補綴学を習得  
1992 帰国 デンテックインターナショナル(株)設立 社長就任  
2001 日本歯科技工士会生涯研修認定講師  
2006 (株)Dental Digital Operation 設立 代表取締役就任



講師歴  
文献

別紙参照

日時

2008年11月3日(祝) AM10:00~PM12:00

会場

コンベックス岡山 国際会議場 岡山市大内田 675 TEL 086-292-6111

受講料

一般 ¥3,150 セミナー会員 ¥2,835(消費税込)

講演抄録

近年における歯科医療は、臨床家達による過去の経験や新しい発想等によって導かれた正確な診断、術式に携えられて飛躍的な進歩を遂げてきた。中でもインプラント治療においては、機能美から整容的機能美への変遷であるとも言える。それは時代の移り変わりと共に患者の要求として、天然歯支台による修復と同様、インプラント修復においても治療成果への期待が日増しに高くなっている事が理由の一つではないだろうか。

基本的にインプラント治療は正確な診断、外科、補綴から成り立ち、各々を優れた治療計画に基いて管理される。治療計画は口腔内全体の状況を管理範囲とし、内容的にはインプラント施術の実施時期、硬組織の保存、インプラントの埋入本数、埋入位置が重要であり、さらには周囲軟組織の保存、補綴様式等を綿密に計画することで、高い治療成果を決定づける。

それらは我々歯科技工士にとっても治療全体の流れを把握するためのスキルを求められる事を意味する。勿論、補綴物の作成を流動的に対処することも重要なことに違いはないのだが、例えば治療各ステップの重要性や組織の特徴、そして先進技工手技等を学習、導入する事は技工技術をより高い水準へと導く要因となる。

また、新しい器具、機材、材料の進化も、高度化される歯科治療の一助を担い、特に技工分野でのCAD/CAMに代表されるIT技術の発展には脱帽させられる今日である。

しかしながら、我々の扱うIT技術とは創造性に欠けるような工業的なものであってはならない。優れた技工士ならばIT技術に上手く己の経験、知識、感性、技術などを加味することで、より素晴らしい補綴物を創り出せることであろう。

またそのような思考は今日、社会的に危惧されている地球環境への問題に対して配慮する事との共通点であるようにも思える。

今回は現状における私なりに目指す歯科技工を、一般臨床を挙げながらご紹介したい。

お問い合わせ

(株)リンケージ藤波 岡山県倉敷市加須山 881-2  
TEL 086-420-0001 FAX 086-428-8899  
<http://www.f-linkage.com> (詳細やお申込に)

主催/ (株)リンケージ藤波  
共催/ (株)イリエ歯科商社

お申込方法

下記の受講申込書にご記入の上 FAX またはホームページにてお申込みいただき下記の口座にお振込み下さい  
ご入金確認後受講票を送付させていただきます。

お振込み先

中国銀行倉敷駅前支店 普通 2107071 カ)リンケージジナミ  
\* 誠に恐れ入りますが振込手数料はご負担下さい

新たな時代の歯科技工 2008/11/03		【ご記入いただいたお申込み情報は適切、厳重に管理いたします】		受講申込書
歯科医院・技工所名	ご住所 〒			
お名前(全員)	TEL			
	FAX			
	申込区分	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> セミナー会員	医院

## 十河 厚志先生

### 講演歴

- 1998 第3回 国際歯科技工学会大会
- 1999 第29回 日本口腔インプラント学会総会・学会大会
- 1999 第17回 日本口腔インプラント学会九州支部学会大会
- 2002 第20回 日本顎咬合学会学会大会 東京国際フォーラム
- 2002 日本歯科技工士学会第4回学会大会 学術講演
- 2002 大阪府歯科技工士会 学術講演
- 2003 第34回 日本口腔インプラント学会総会・学会大会 学術講演
- 2004 日本口腔インプラント学会九州支部学会大会 教育講演
- 2005 第4回 Ossointegration Study Club of Japan 講演
- 2006 東京都歯科技工士会 生涯研修
- 2007 日本歯科審美学会セミナー 講演 大阪
- 2007 Nobel Biocare World Conference 講演 ラスベガス
- 2007 日本インプラント臨床研究会 100時間コース 講演 東京
- 2007 岡山県歯科技工士会 講演
- 2008 日本歯科医学会総会 講演予定

### 文献

- \* “技工操作から見たインプラント捕綴成功への糸口” 国際医書出版  
歯科ジャーナル 第4号 1994
- \* “別冊インプラント上部構造 PART ”(共著) クインテッセンス出版 1996
- \* “審美領域におけるプレパレーションタイプ・アバットメントによる対応”  
クインテッセンス出版 QDT 2000
- \* “別冊インプラント上部構造 PART ”(共著) クインテッセンス出版 2002
- \* 日本歯技 2004
- \* “セラミック修復の現状”(共著) 永末書店 2006
- \* 臨床技工 “困った問題” 解決講座 クインテッセンス出版 QDT 2007.1 ~ 2007.12